

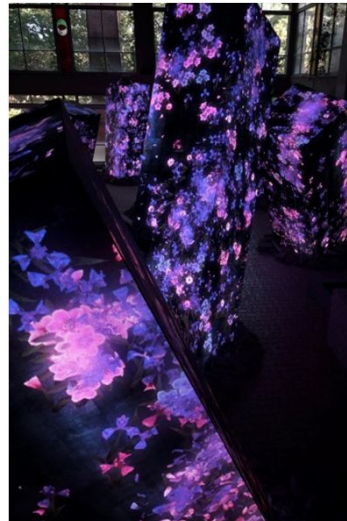
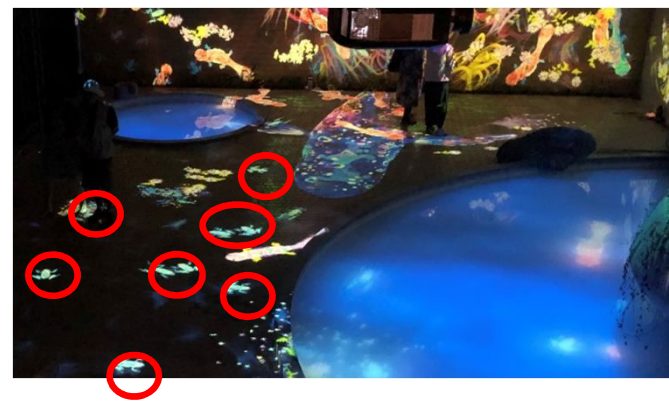
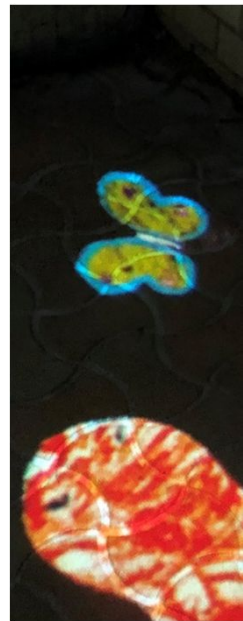
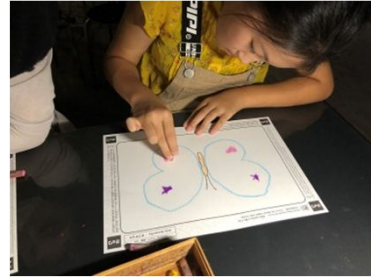


【フィナンシャル情報館株式会社】

先日、佐賀県武雄市にある御船山楽園で開催されているアート展【チームラボ かみさまがすまう森】に小5の娘を連れて行って来ました。チームラボさんは今、世界で注目されており全国各地でそこにある建物や土地を活用して独特の世界観を表現しているアート集団です。私が住んでいる熊本でも先日まで開催されておりました。

私達がとても驚いたのは「廃墟の湯屋に住む生き物たち」という作品でした。この作品は右の写真のように自分で生き物を描き、その描いた生き物が命を授かり、動き回るといったものでした。さらに驚いたのは、食物連鎖も表現されており、カエルの近くに蝶が近づくと食べられてしまい蝶は消滅してしまいます。カエルの近くにトカゲが近づくと食べられてしまいカエルは消滅してしまいます。また、人間が近くを通過して誤って踏みつぶしてしまっても消滅してしまいます。こういった仕組みになっているのかさっぱりわかりませんでした。そういった疑問をよそに娘はとても喜んでいました。私はカエルを描き、娘が蝶を描きました。娘の蝶は、はじめは優雅に夜空を舞い、花々にとまって順調に増えていきました。しかし、描いた生き物のチョイスが悪かったのか、私の描いたカエルが娘の蝶を食べ荒らしたのです。そのおかげで右の写真のように私のカエルはその土地の覇者になったかのように増殖していきました(苦笑)。これには娘も半泣きになってしまい、しまいには私と口を利かなくなりました(涙)。

下部左の写真は「廃墟の湯屋にあるメガリス」という作品です。1時間で、1年間の花々が咲いていく様(生まれ、咲き、散り、枯れて死んでいく)を表現しているそうです。1時間もいなかったのですが作品の真意を感じることはできませんでした。。。下部右の写真は「呼応するランプの森とスパイラル・ワンストローク、夏の森」という作品です。人がランプの近くを通り過ぎたり、しばらくじっとしていたりすると色や強さを変え、ランプとランプの間に線があるかのような錯覚を得ることが出来ました。



～あっと驚くFP講座～

★癌治療に対しての保険とは★

癌に対する保険について記したいと思います。今や日本人の2人に1人が癌に罹患する時代です。有名人が癌に罹患してどのような治療をやっているか等の報道は毎日のようにされていますよね。癌＝不治の病というイメージは以前よりだいぶなくなってきていると思います。確かに現在の医療は進歩していて、罹患後の生存率も確実に上がってきております。しかし、治療にもいろいろな選択肢があり、健康保険扱いの治療以外に先進医療や保険外の自由診療の治療も多数存在します。最良の選択肢にたどり着くのも一苦労というわけです。

通常、大学病院や地域のガン連携拠点病院で治療をしていくのが一般的です。いわゆる大病院ですね。これまでの患者さんの治療履歴の膨大なデータをもとに効果的な治療方針を決定していきます。これらの治療を一般的に標準治療というのですが、その標準治療が効果的に働かなくなった場合は今度はご自身でセカンドオピニオン等を受診し、これまでと異なる治療法を見つけていく必要があります。



一般的なガン保険の保障内容は癌と診断されて100万円を一時金として給付され、入院日額1万円、通院日額を5千円を給付されるといったような内容になっております。標準治療のみの治療となると人にもよりますが、殆どの方がこの保障内容で足りてきます。しかし、標準治療で思うような治療効果が出なかった場合はそうはいきません。治療を受けれる病院が近くになく、他の都府県に行くようなことになれば、そこまでの交通費がかかりますし、もちろん仕事も思うようにできなくなります。余談ですが、癌に罹患した人の3割近くが離職を余儀なくされているそうです。

標準治療と別の治療法で今注目を集める免疫療法は、一部健康保険が利く治療もありますが、殆ど健康保険が利きません。当然治療費全額が自己負担となり、莫大な治療費がかかります。この免疫療法でも効果があった症例は数えきれないほどあるようです。しかし、治療費が高額になるために治療できない方も多数いるそうです。

そこで、私が癌治療のために必要な保険は？と質問されると、癌治療に対する治療費を殆ど支払ってくれる実費型の保険と、癌と診断されて一時金が支払われる三大疾病保険です。一時金で支払われる保障は最低500万円～1000万円以上はあったほうが良いと考えます。その一時金で交通費や減少する給与の補填、また免疫療法などの治療費に充てるという考え方もできます。

このように標準治療だけで治療が完了するのが一番ですが、万が一標準治療以外の治療をすることになると、こういった保険が無いと治療の選択肢が狭くなります。